

## 1. <施策の概要>

基本理念	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部	生涯学習課
基本方針	情報化			
施策名	図書館	関連課	総務部	総務課
方針・目標等	◆住民ニーズを踏まえた図書館資料・サービスの充実 ◆子どもの読書活動の推進 ◆住民の多くが図書館を利用			
実施内容	◆学校や関係団体との連携による子ども読書活動 ◆郷土資料のデジタル化 ◆図書館施設の維持管理			

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 住民一名あたり図書館資料貸出点数	点	全国平均	5.49   23	図書館年鑑2012			
②	○ 蔵書回転率	-	全国平均	1.74   23	図書館年鑑2012			
③	貸出点数	点	同規模上位10館平均	543,700   23	図書館年鑑2012			
④	予約・リクエスト受付件数	件	同規模上位10館平均	26,570   23	図書館年鑑2012			
⑤	蔵書数	点	同規模上位10館平均	264,400   23	図書館年鑑2012			
			H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標		12.5	12.7	12.5	12.3	12.4	12.4
	実績		12.4	12.2	12.2	12.3		
②	目標		3.04	2.99	2.90	2.90	2.75	2.80
	実績		2.99	2.86	2.78	2.74		
③	目標		450,000	460,000	448,000	450,000	456,000	458,000
	実績		446,842	443,149	448,052	454,982		
④	目標		15,700	19,000	20,000	21,000	24,500	26,000
	実績		18,018	19,312	20,322	23,647		
⑤	目標		148,000	154,000	159,000	164,000	171,000	176,000
	実績		149,356	154,869	161,181	166,132		

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・日本図書館協会が全国公共図書館の動向をつかむために、人口規模ごとに集計している基本的なデータの中で、施策評価に欠かせない「住民一名あたり貸出冊数」、「予約・リクエスト受付件数」はやや増加の傾向、「蔵書回転率」は横ばいの傾向にあり、全国の同一人口規模の自治体の中では上位水準に位置している。

・継続的に蔵書の充実に取り組んでいるところであるが、「町民の情報発信基地」、「くつろげる知的オアシス」として、暮らしに役立つ図書館活動をさらに推進していくためには、より新鮮で魅力ある蔵書を構築していく必要がある。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・図書館は、生涯学習の拠点として、資料や情報、場を提供することによって、住民が自ら学び、考え、行動できるよう、サポートする必要がある。また、子どもたちが、人生をより深く生きる力を身に付けていくために必要な読書環境の整備を、学校、地域、家庭との連携により推進していく必要がある。

・町民の一番身近にある図書館として、来館者から日々寄せられるニーズに丁寧に応え、潜在的な要求にも気を配り、公立図書館の役割りをしっかりと担えるサービスを展開する必要がある。さらには、本町と共通する課題に先進的に取り組んでいる自治体の優れた事例からも学び続けることが必要である。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	生涯学習課	19,306	13,155	11,840	15,762	17,300	17,300
	図書等購入	11,630	8,989	7,152	10,562	12,100	12,100
	一般事業 247	4,124	3,924	4,096	3,523	5,100	5,100
2	生涯学習課	40,662	48,344	45,077	49,565	51,216	51,216
	図書館運営費	33,792	34,338	33,626	33,774	35,425	35,425
	一般事業 245	33,721	34,262	33,549	33,688	35,425	35,425
3	生涯学習課	8,607	3,862	3,859	4,544	4,559	4,559
	読書推進事業	123	94	211	134	149	149
	一般事業 247	123	94	211	134	149	149
4	総務課	9,209	9,346	10,299	10,622	10,856	10,856
	図書館維持管理事業	6,358	6,380	6,369	6,361	6,889	6,889
	一般事業 245	6,358	6,380	6,369	6,361	6,889	6,889
5	総務課	6,421	6,356	7,500	7,831	8,061	8,061
	移動図書館車運行业務	3,570	3,570	3,570	3,570	3,800	3,800
	一般事業 247	3,570	3,570	3,570	3,570	3,800	3,800
6							
7							
8							
9							
10							

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・住民の生涯学習を支える拠点として、貸出冊数や予約・リクエスト件数を増やすなど利便性の向上を図ったことで、安定したサービスの提供に努めた。その結果、貸出冊数は前年度比1.5%増加し、住民一名あたりの貸出冊数が12.2冊と全国の同一人口規模の自治体と比べ高水準を維持することができた。・学校図書館や子どもに関する機関と定期的な会議を持つとともに、連携して行事を行い、子どもの読書環境整備を進めることができた。・地元発行の逐次刊行物ファイルのデータ化やチラシの収集を行ない、郷土資料を充実させた。・IT機能や図書館ネットワークを活用して、レファレンスやリクエストなど住民の多様な資料・情報要求に対応できた。今後さらに、資料の充実整備をはかるとともに、様々な層を対象とした行事や展示を企画し、図書館の魅力を発信していくことが課題である。

#### 5. <施策の今後の方向性>

・住民のニーズも踏まえて、各分野の基本図書、参考図書や郷土資料などをさらに充実させ、「住民が主体のまちづくり」に応えられる図書館サービスを目指す。  
 ・利用の停滞している一部地域への移動図書館の運行を見直し、学校、保育所等の施設への読書活動に切り替え推し進める。  
 ・住民の多様な資料・情報要求を見据えて、蔵書構成を点検し、基盤強化を図るとともに、郷土資料を中心にデジタル化を進め、資料情報の保存と発信にも努める。  
 ・町民の幅広い層を対象とした行事や展示を開催し、図書館の魅力を普及啓発する。